

## ベランダから眺める春の風景

研究室のベランダから眺める景色も急に春めいてきた。昨年暮れの寒波のときに雪だるまが作られた玄関付近の桜も満開となり、疲れた目を楽しませてくれる。冬の雪景色もなかなか風情があったが、桜はやはり心を弾ませるものがある。



その下の写真は、新入生「合宿オリエンテーション」のためのバスである。行き先は豊田市に編入合併された稲武である。2グループに分かれて、稲武の施設で合宿するものであり、新入生歓迎の「恒例行事」になっている。今年は天気に恵まれたようだ。



写真に小さく白い服を着ている学生が見えるが、「オリター」と呼ばれる在學生たちであり、新入生を誘導したり、合宿に参加したりして大活躍している。先輩から後輩に受け継がれてきた「オリター」

制度は、「たこ足型」キャンパスでまとまりにくい市大にあって貴重である。学生たちにとっても、「オリター」の経験は就活などにおいても力を発揮すると思う。「オリター」から卒業する（オリターから降りた）頃から、大学生としての「自覚」もはっきりしてくるのではないか。

もう一つの写真は、ベランダから名駅方面を撮ったものだ。超高層ビル街が形成されてきたのがわかる。JRセントラルタワーズの横に「ミッドランドスクエア」が出来上がり、さらに「名古屋ルーセントタワー」の建設が進んでいる。



研究室の前から名古屋都心部の変容、「都市再生」の展開が眺められ、季節感とはまた違った「味わい」を感じる。（2006年4月7日 記）